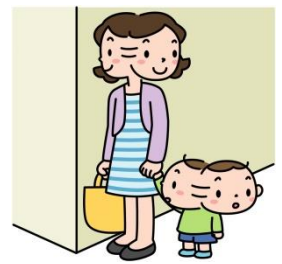




交通指導



H30. 2. 9(金)



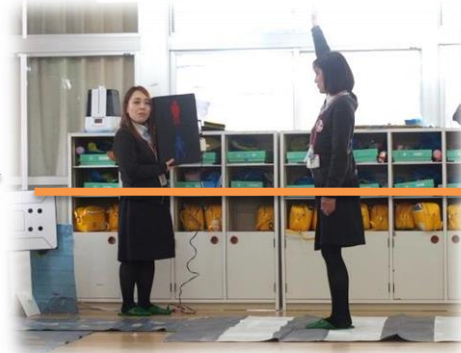
今日は、長崎市道路維持課の方が見えて、交通指導がありました。今年度最後の指導には、虹組のみ参加し、歩行訓練をしました。虹組の子ども達は、4月から小学校に行くので、今まで学んできた交通ルールを確認しながら「自分で考えて」歩くことの大切さを確認することができました。



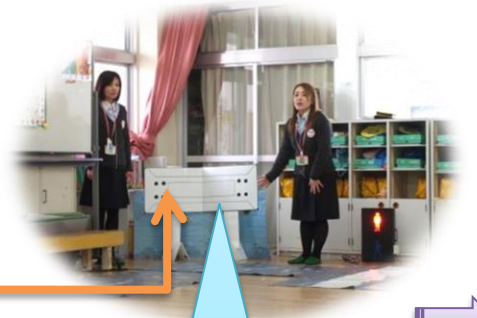
ここが、スタート!
まずは、ストップマークで止まって・・・、「右をみて、左をみてもう一度、右をみて」確認します。



白線の内側を、気をつけて通らしましょう。



ここは、信号がある横断歩道。
「青信号」になっても、必ず手をあげて「右をみて、左をみて、もう一度右をみて」自分の目で確認します。渡っている途中で青信号が、チカチカになった時は、走らないで「急ぎ足(早歩き)」で渡りましょう。



これはガードレール。ガードレールの先は、川があったり、がけになっていたり…危ないので、絶対のりこえて先には行きません!



狭い道は、広がって歩かず、一列に並んで歩きましょう。



ここは「信号のない横断歩道」
横断歩道を渡る前には、まっすぐ手をあげて、右・左・右をみて、渡ります。



ここは電車が通る踏切です。
遮断機が上がっても、「右をみて、左をみて、もう一度右をみて」そして、「電車が来ていないか、音をよく聞いて」渡りましょう。



子ども達が、本当に真剣に話を聞いて取り組んでいる姿を見て「本当に成長したなあ」と嬉しく思いました。お姉さんのアドバイスで「横断歩道を渡る時、最初はまっすぐ手があがっているけれど、渡り始めると手が下に降りてしまう人がいます。子どもは、どうしても背が低くて車からは見えにくいので、手をまっすぐあげて横断歩道を渡ることが大切です」ということを教えてもらいました。交通指導終了後、「修了証(カード)」をいただきました。1年生になる前に、一度お家の人と「通学路を歩いてみる」ことも大切だそうです。ぜひ、お子さんと通学路を一緒に歩いて、交通ルールのことも含めて確認をしてみてくださいね 🎵